

## 1. 授業の概要(ねらい)

日本人は論理的思考が苦手だといわれます。確かに、欧米主要国の人々に比べ、その点で後れを取っているのは否めません。日本では元来、自らの意見を明快に表明する習慣に乏しいうえ、そのような訓練も十分に行われていないようにみえます。しかし、グローバル化の時代に、このままではいけないと思います。

皆さんが実際に、社会に出てどのような職業に就くにしても、あるいは、大学院に進んで勉学を続けるにしても、日々直面するのが論理的思考だといっていいでしょう。具体的には、目の前に生起するさまざまな事象について、それをどう捉えて分かりやすく筋道を立てて論じたり、それにどう対処したりするか、ということです。

授業では毎回、社会・政治・経済・国際問題の中から、受講生が身近に感じられるような、注目すべき出来事を取り上げ、社説をはじめとする新聞記事などを教材にして、論理的思考の基本を学習してもらいます。

それぞれの出来事について、どのような見方や評価をすればいいのか、それはなぜなのかといったことを丁寧に説明して、受講生によく「消化」してもらい、受講生にも考えを述べてもらい、文章にもしてもらいます。そうした授業の回を重ねることによって、論理的思考力が自然と身についていくようにしたいと考えています。

## 2. 授業の到達目標

論理的思考とは、独りよがりの理屈を唱えることとはまるで違います。まず、おおよその事実関係をしっかりと把握する習慣と力を身につけること、次に、その事実について合理的な、妥当な判断を下せる見識を持つこと、そして、それを文章や口頭で論理的に説明する表現力を養うことが肝心です。

そうした力は何といっても文章に表すことによって養われますから、授業ではとりわけ書くことに重点を置きます。物事の要点をきちんとつかんだうえで、自らの意見を的確な文章に表現できるようになることを目指します。そうなれば、口頭での表現力も自ずとついてきます。

## 3. 成績評価の方法および基準

社会・政治・経済・国際問題に関する論考やインタビューなどを題材にその要点や自分の考えをまとめるレポート課題の提出を3～4回求めるほか、それと、最後に行う授業内の小論テストの出来具合を評価の二本柱に据え、さらに授業での受け答えぶりも加味して、成績を決定します。

## 4. 教科書・参考文献

## 教科書

原則として毎回、こちらで用意した教材のコピーやプリントを受講生に配布します。書き写すことによって論理的な筆の運びを身につけてもらう教材として、新聞の社説も適宜使用します。

## 5. 準備学修の内容

レポート課題は、指定される次回ないしは次々回の授業までに必ず、そのテーマについて十分に調べて作成し提出するように心掛けてください。次回の授業で学ぶ事柄を予告することもありますので、その場合は予備知識を仕入れて授業に臨むことが大切です。

## 6. その他履修上の注意事項

毎回、一つの事象を取り上げ、それについて十分に講義しておいて、受講生との間で質疑応答を行うという授業形式を取ることが多くなります。したがって、受講生には授業に積極的に参加する姿勢が求められます。

社説の筆写に必要な専用のノートか200字詰め原稿用紙・ノートなどを用意してもらいます。国語の辞書や電子辞書も必携です。分からない言葉が出てきたらその都度、辞書を引くことが不可欠です。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(LMSによるオンライン授業で米ニューヨーク・タイムズ紙記事の日本語訳などを使って、論理的思考で重視される読み解く力とは何か、なぜそれが重要なのかを学ぶ)。
- 【第2回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は新型コロナ・ウイルス感染拡大への日本の対応をめくり、社説を比較する課題を作成した)。
- 【第3回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は新型コロナ・ウイルス感染拡大への中国の対応について、社説などに表れた問題点を考えた)。
- 【第4回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は第2回授業の課題に関する講評を聴き、新型コロナ・ウイルス問題をさらに俯瞰的に考察した)。
- 【第5回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は新型コロナ・ウイルス感染の世界的流行をグローバル化という観点から捉え、課題を作成した)。
- 【第6回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は日米仏3カ国の思考表現形式を比較した記事を読み解き、課題としてその要旨を作成した)。
- 【第7回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は第5回授業の課題に関する講評を聴き、物事を論理的に把握し表現する要点は何か考えた)。
- 【第8回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は現代の米学生気質を描いた米ニューヨーク・タイムズ紙への寄稿記事＝日本語訳＝を読み解いた)。
- 【第9回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は第6回授業の課題について講評を聴くとともに、上記寄稿の論理構成について解説を受けた)。
- 【第10回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は新型コロナ禍で失速した経済の回復に関する社説を読み解き、それを書き写す課題を行った)。
- 【第11回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は新型コロナ・ウイルス感染拡大の第二波を前に東京都政府も戦略なしとする社説を読み解いた)。
- 【第12回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ(2020年度は春期授業のおさらいを行い、授業内課題テストを受けた)。
- 【第13回】 社会・政治・経済・国際的事象について理解を深めたくうえで質疑応答を行い、文章に表す方法を学ぶ。
- 【第14回】 春期授業のおさらいと授業内小論・課題テスト
- 【第15回】 第8回目の週にLMSによるオンライン授業を受け、社会・政治・経済・国際的事象について理解を深め、文章に表す方法を学ぶ。

